



登録番号：25002

評価証

「BLUE FLAG Asia Summit 2025」主催者は参加者、事業者、関係団体や地域など関係する全てのステークホルダーに配慮したMICEの開催およびSDGsの自律的好循環を形成し、主催するMICEの価値向上に取り組んだことを評価します。

- 催事名称 : BLUE FLAG Asia Summit 2025
～世界に選ばれる安全で美しい海を目指して～
- 開催期間 : 2025年9月20日（土）、21日（日）
- 会場 : 貝塚市民福祉センター 6階多目的ホール
- 主催団体 : 一般社団法人日本ブルーフラッグ協会
- 概要 :

本会議は、アジアにおいて海洋環境問題や観光、地域活性化の可能性について議論し、持続可能な海の未来を展望する国際会議である。運営面では、廃棄物削減を意識した会場運営や資材の再利用を行い、取組を可視化した。プログラムでは海外スピーカーによる水質基準等の報告や、国内認証地域の持続可能な運営事例が共有され、会場には宣言書を掲示するなど主催者の姿勢を明確に示した。環境配慮を運営・内容の両面で実装し、国際的な知見共有と地域発信を両立した会議として評価できる。



SDGs for MICE評価制度は「TEAM EXPO 2025」プログラム共創チャレンジに登録しています

2026年2月5日
公益財団法人大阪観光局
理事長 溝畑 宏



SEMS 774922





Registered No. 25002

Evaluation Certificate

The following event organizers are hereby commended for sustainably organizing their MICE event in consideration of all stakeholders including attendees, service providers, the local community, and other related parties. We have evaluated the organizers in their tangible steps towards the Sustainable Development Goals and recognize the efforts they have taken to increase the value of their MICE event.

- Event Name: BLUE FLAG Asia Summit 2025
A Global Vision for a Safe and Beautiful Ocean
- Period: Saturday, September 20 to Sunday, September 21, 2025
- Event Venue: 6F Floor Multi-purpose Hall, Kaizuka Citizens' Welfare Center
- Organizer: Japan Blue Flag Association

● Event Overview:

The BLUE FLAG Asia Summit 2025 aligned with the core of the Blue Flag programme, promoting environmental protection and sustainable coastal development. The event featured international speakers presenting on water quality standards and sustainable practices, alongside case studies from certified regions. The organizers demonstrated environmental responsibility through waste reduction measures and material reuse in venue operations, their commitment further highlighted the public declaration displayed at the venue. By integrating sustainability into both content and operations, the Summit successfully combined global knowledge exchange with regional engagement, meeting the criteria for SDGs for MICE certification.



The SDGs for MICE Sustainable Event Evaluation System is registered with the Co-Creation Challenge as part of the Team Expo 2025 program.

February 5, 2026
Hiroshi Mizohata, President
Osaka Convention & Tourism Bureau



SEMS 774922



9月20日(土)～21日(日) 国際会議「BLUE FLAG Asia Summit 2025」(大阪) 開催

— お知らせ —

🏠 ホーム > お知らせ一覧 > お知らせ > 9月20日(土)～21日(日) 国際会議「BLUE FLAG Asia Summit 2025」(大阪) ...



【アジア初開催】

～BLUE FLAG Asia Summit 2025

～ Towards a Safe and Beautiful Ocean Recognized by the World ～

日本ブルーフラッグ協会は、2025年9月20日(土)・21日(日)の2日間、大阪府貝塚市で「BLUE FLAG Asia Summit 2025 ～Towards a Safe and Beautiful Ocean Recognized by the World～」を開催しました。日本・韓国・インドの3か国からブルーフラッグ関係者が参加し、延べ154名が集まりました。

認証取得の事例や課題を共有しながら、持続可能な沿岸利用や地域活性化について意見交換を行い、市民、自治体、企業、研究者、教育関係者など、多様な立場の参加者が海の未来を見据えて議論を深めました。

アジアで初めてこの規模で開催されたブルーフラッグ国際会議として、認証制度の普及と国際的な連携の強化に向けた大きな一歩となりました。参加者は、持続可能な海と地域づくりへの決意を新たにし、次回のBLUE FLAG Asia Summitでの再会を誓いました。

【日 時】1日目：2025年9月20日(土) 13:30～17:00、2日目：2025年9月21日(日) 10:00～12:00

【会 場】貝塚市民福祉センター 6階多目的ホール (大阪府貝塚市畠中1丁目17番1号)

【参加者】日本含む4か国、154名(ビーチパーティ、エクスカージョン含む)

【主 催】一般社団法人日本ブルーフラッグ協会

【共 催】一般社団法人JARTA

【協 力】二色の浜魅力力向上推進協議会

【後 援】貝塚市、公益財団法人大阪観光局、Foundation for Environmental Education (FEE)、The Centre of Environmental Education (CEE)、Foundation for Environmental Education Korea

*本会議は大阪府・大阪市による“万博を契機としたOSAKA国際会議助成金”申請事業です。

意義と成果

(1) 認証取得の成功事例と課題の共有

日本、韓国、インドから、ブルーフラッグ認証を取得したビーチやマリナーの成功事例および課題が紹介されました。ディスカッションや質疑応答を通じて、水質管理、環境教育、住民参画、安全対策、プロモーション手法など、ブルーフラッグの運営に関する実践的なノウハウを参加者間で共有することができました。

(3) 普及拡大に向けた連携と情報交換体制の強化

日本、韓国、インドに加え、ブルーフラッグ認証の導入を目指す台湾とも連携を深め、アジア

地域におけるブルーフラッグ認証の普及拡大に向けた協力関係を構築しました。また、来年度以降のAsia Summitの継続開催に向け、各国間の情報交換体制を強化することについて合意を得ることができました。

(4) 参加者の交流・ネットワーキング

「BEACH PARTY」およびエクスカーショを通じて、日本、韓国、インド、台湾のブルーフラッグ関係者による活発な交流が行われ、親睦を深めることができました。これにより、今後のアジア地域におけるブルーフラッグ普及に向けたネットワーク基盤を構築することができました。



アジア各国のブルーフラッグ認証ビーチ・マリナー関係者が一堂に会するグローバルシンポジウム

世界が認める安全で美しい海へ  BLUE FLAG

BLUE FLAG

ASIA SUMMIT 2025

Towards a Safe and Beautiful Ocean Recognized by the World

DAY1 **9.20** Saturday 13:30-17:00 **DAY2** **9.21** Sunday 10:00-12:00

📍 貝塚市民福祉センター [6階多目的ホール] 定員100名

 BLUE FLAG 

What is BLUE FLAG? [ブルーフラッグとは？](#)

国際NGO FEE(国際環境教育基金)が運営する、ビーチ・マリナー・観光ボートを対象とした国際的な環境認証であり、世界で最も歴史と信頼性のある認証制度の一つです。現在、世界51か国、5,195か所が認証を取得しており、アジア地域では日本・韓国・インドの3か国のみが参加しています。本サミットでは、アジア各国の関係者が一堂に会し、ブルーフラッグの課題や成功事例を共有することで、アジアの持続可能な沿岸域の活用と地域活性化の推進を目指します。

51 Countries
5,195 Beach,
Marina & Tourism Boats

主催 一般社団法人日本ブルーフラッグ協会 **共催** 一般社団法人JARTA **協力** 二色の浜魅力向上推進協議会

後援 貝塚市、公益財団法人大阪観光局、Foundation for Environmental Education (FEE)、The Centre of Environmental Education (CEE)、Foundation for Environmental Education Korea

クリックするとPDFが開きます

PROGRAM

プログラム内容



[DAY1] 9.20 Saturday

13:30 開会 (開場13:00~)



主催挨拶

片山 清宏 一般社団法人日本ブルーフラッグ協会 代表理事
高山 傑氏 一般社団法人JARTA 代表理事

13:55 第1部 基調講演



「ブルーフラッグ認証の意義と可能性」
Johann Durand
FEE International Blue Flag Director

14:05 第2部 アジアのブルーフラッグ事例発表



「インドのブルーフラッグ先進事例」
Dr. Shriji Kurup
Centre for Environment Education (CEE)



「韓国のブルーフラッグ先進事例」
Peter DaeYoung Kang
Foundation for Environmental Education Korea
Chief Executive Officer



15:20 第3部 日本のブルーフラッグ事例発表



「二色の浜海水浴場(大阪府貝塚市)」
延生康二氏 二色の浜魅力向上推進協議会 副会長



「若狭和田ビーチ(福井県高浜町)」
仲野博之氏 高浜町産業監理課 課長補佐
永野由佳氏 ブルーフラッグアカデミー+



「ヤンマーサンセットマリーナ(滋賀県守山市)」
中村好美氏 ヤンマーサンセットマリーナ



★スペシャルゲスト 高野進氏
一般社団法人日本ビーチスプリント協会 代表理事

17:00 終了

17:30-19:30 先着40名

Beach Party

◎二色の浜BLUE TERRACE / 参加費 2,600円

本会議は大阪府・大阪市による「万博を契機としたOSAKA国際会議助成金」申請事業です

[DAY2] 9.21 Sunday

10:00 第1部 基調講演 (開場9:30~)

「ブルーオーシャンプロジェクトの取組み」
片山 亮氏 NPO法人ゼリ・ジャパン 事務局

10:30 第2部 活動・研究事例発表

「二色の浜海域での海洋教育」
山田 浩二氏 貝塚市立自然遊学館 研究員
「大阪湾における打ち上げ貝の調査」
大阪府立佐野高等学校

「海と森のつながり(大阪湾再生プロジェクト)」
学校法人大阪ECO動物海洋専門学校
「見出川の水生生物について」
清風南海中学校

12:00 閉会

13:00-17:30 (予定) 先着40名

「BLUE OCEAN DOME」、
「三菱未来館 JOURNEY TO LIFE」見学
◎大阪・関西 万博会場 / 参加費 6,300円

申込フォームはこちら!

有料プログラム
2025.9.3 水
無料プログラム
2025.9.19 金



右記二次元コードよりお申し込みください

会場

貝塚市民福祉センター 6階多目的ホール
〒597-0072 大阪府貝塚市島中1丁目17番1号

お問い合わせ

一般社団法人 日本ブルーフラッグ協会

MAIL info@blueflag-japan.org

TEL 090-9017-2459

プログラム

1日目 : 2025年9月20日 (土) 13:30~17:00



【主催者挨拶】



片山清宏（一般社団法人日本ブルーフラッグ協会 代表理事）

【ご来賓挨拶】



貝塚市長 酒井了氏



高山 傑 氏（一般社団法人JARTA 代表理事）

浅尾環境大臣からメッセージをいただきました



【第2部】アジアのブルーフラッグ事例発表

◎ 「インドのブルーフラッグ先進事例」



Dr. Shriji Kurup (Centre for Environment Education (CEE))

「BLUE FLAG Asia Summit 2025」
アジア初のブルーフラッグ国際会議がここ大阪の地で
開催されますこと環境大臣として心よりお祝い申し上げます
海と人の関係が問われる今、ブルーフラッグの理念は、
持続可能な沿岸管理と地域社会を結びつける象徴的存在で
あり、日本でも環境基準の向上が進むなか、ブルーフラッグ
認証は、国民の意識を高める力を持つっていると存じます
本会議においてアジア中の専門家や関係者が一堂に会し、
知見を共有し未来への道筋を描くことは、アジア全体の環境
政策にとっても大きな一歩となると確信いたします
アジアにおける持続可能な沿岸域の活用と環境教育の推進に
向けた新たな連携の契機となることを期待するとともに、
ブルーフラッグ協会の皆様のご尽力に深く敬意を表します
アジアの海岸環境保全のさらなる発展に向け、共に力を
尽くしてまいりますよう

令和七年九月二十日



環境大臣

浅尾

慶一郎



【第1部】基調講演

◎ 「ブルーフラッグ認証の意義と可能性～世界の最新動向を踏まえて」

Johann Durand (FEE International Blue Flag Director)

◎ 「韓国のブルーフラッグ先進事例」



Peter Dae Young Kang (Foundation for Environmental Education Korea Chief Executive Officer)



◎ 「二色の浜海水浴場におけるブルーフラッグの取組み」

【第3部】日本のブルーフラッグ事例発表



延生康二氏（二色の浜魅力向上推進協議会 副会長）

◎ 「若狭和田ビーチにおけるブルーフラッグの取組み」



仲野博之氏（高浜町産業振興課 課長補佐）、永野由佳氏（ブルーフラッグアカデミー+）

◎ 「ヤンマーサンセットマリーナ（滋賀県守山市）におけるブルーフラッグの取組」



中村好美氏 (ヤンマーサンセットマリーナ)



高野進氏 (一般社団法人日本ビーチスプリント協会 代表理事)

【スペシャルゲスト】



インド、韓国、台湾からの参加者と国内ブルーフラッグ関係者

2日目：2025年9月21日（日）10:00～12:00

【第1部】基調講演

◎「ブルーオーシャンプロジェクトの取組み」



片山亮氏（NPO法人ゼリ・ジャパン 事務局）

【第2部】海の環境保全に関する活動や研究事例発表

◎「二色の浜海域での海洋教育」



貝塚市立自然遊学館 研究員 山田浩二氏

大阪府立佐野高等学校（発表テーマ：大阪湾における打ち上げ貝の調査）、学校法人大阪ECO動物海洋専門学校（発表テーマ：海と森のつながり『大阪湾再生プロジェクト』）、清風南海中学校（発表テーマ：見出川の水生生物について）の発表には「優秀発表賞」が授与されました。



片山清宏（一般社団法人日本ブルーフラッグ協会 代表理事）

【主催者閉会挨拶】



13:00~17:30 エクスカーション「大阪・関西万博」見学

会場：大阪・関西万博会場

内容：大阪・関西万博パビリオン「BLUE OCEAN DOME」「三菱未来館 JOURNEY TO LIFE」見学



お問い合わせ

一般社団法人日本ブルーフラッグ協会 サミット事務局

E-mail: info@blueflag-japan.org

TEL: 090-9017-2459



登録番号：25002

宣言書

「BLUE FLAG Asia Summit 2025」主催者は参加者、事業者、関係団体や地域など関係する全てのステークホルダーに配慮したMICEの開催、およびSDGsの自律的好循環を形成し、主催するMICEの価値向上を目指すことを宣言します。

- 催事名称：BLUE FLAG Asia Summit 2025
～世界に選ばれる安全で美しい海を目指して～
- 開催期間：2025年9月20日（土）、21日（日）
- 会場：貝塚市民福祉センター6階多目的ホール
- 構成団体：一般社団法人日本ブルーフラッグ協会
- 概要：

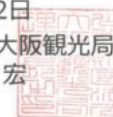
アジア地域の参加国である日本・韓国・インド三国の関係者が一堂に会し、認証制度の意義を再確認するとともに、各地域の課題や成功事例を共有し、持続可能な発展のための議論を深める。三国が連携を強化することでブルーフラッグ認証の普及を促進し、アジア全体における持続可能な沿岸域の活用と地域活性化の推進を目指す。



SDGs for MICE評価制度は「TEAM EXPO 2025」プログラム 共創チャレンジに登録しています



令和7年8月12日
公益財団法人大阪観光局
理事長 溝畑 宏





Registered No. 25002

Certificate of Declaration

The organizers of BLUE FLAG Asia Summit 2025 have declared their intent to sustainably organize their MICE event in consideration of all stakeholders including attendees, service providers, the local community, and other related parties by formulating of a self-sustaining cycle of achievement towards the Sustainable Development Goals and aim to increase the value of their MICE event.

- Event Name: BLUE FLAG Asia Summit 2025
A Global Vision for a Safe and Beautiful Ocean
- Period: Saturday, September 20 to Sunday, September 21, 2025
- Event Venue: 6F Floor Multi-purpose Hall, Kaizuka Citizens' Welfare Center
- Organizer: Japan Blue Flag Association

● Event Overview:
The BLUE FLAG Asia Summit brings representatives from the three participating Asian countries, Japan, Korea, and India, together to reaffirm the significance of the Blue Flag certification system, share regional challenges and success stories, and engage in in-depth discussions for sustainable development. In addition to strengthening collaboration among the three nations, the event aims to advance the sustainable use and revitalization of coastal areas throughout Asia.



The SDGs for MICE Sustainable Event Evaluation System is registered with the Co-Creation Challenge as part of the Team Expo 2025 program.



August 12, 2025
Hiroshi Mizohata, President
Osaka Convention & Tourism Bureau



■ 審査結果総括

・2022年にブルーフラッグ協会を立ち上げ、インド・韓国・台湾でも関心を持ってもらっていて、アジアで広げていくことを目的に、二色の浜がある貝塚市で

アジアサミットを開催した旨、トップインタビューで説明いただきました。

・協会を立ち上げたきっかけは、サーフィンを通して、海岸のゴミ拾いから、さらに、地域や行政と連携・拡大した活動を目的としています。

・今回のアジアサミットでは、組織活動をしている3~4名のスタッフで運営しているため、「福祉センターが設置しているゴミ箱以外は置かない運営」を

実施しています。

・現場確認では、過去の年号が入ったビーチフラッグをテーククロスで使用し、認証や表彰を受けた証書を置いて、参加者に確認できるスペースを設置しています。

・海外のスピーカー(インド・韓国)は、環境分野の知識にも精通しており、韓国のスピーカーの報告では、水質基準に関する報告などがありました。

・日本の認証地域の報告では、ヤンマーサンセットマリーナの事例では、持続可能な運営を詳細に報告していました。

・また、会場の扉には、SDGs評価制度の宣言書が掲示されていました。

【改善と次回に向けたアドバイス】

・認証基準には、環境基準にも関連する水質基準、衛生基準に関連する大腸菌の測定、排水・廃棄物処理などが含まれていますので、すでに対応しているかと思いますが、各省庁と連携した政策的な認知度向上を期待します。